



首里城(沖縄県那覇市)
 絵:平野敬則

私

是那覇の中心部で育ちました。子供の頃はショートカットで男の子みたいに半ズボンをはいて、真っ黒になって遊ぶ毎日。波の上ビーチも近いのですが、家族がキャンプ好きなのでよく西海岸や慶良間諸島などにも出かけました。エメラルドグリーンの透명한海と真っ白な砂浜がふるさとの原風景です。

高校生の頃には友だちと松山公園でお弁当をひろげたり、近くの国際通りへもよく出かけたものです。高校を卒業してから一人で東京にやってきましたが東京の電車に慣れるまでは大変でした。沖縄には鉄道がなかったですからね。

幸運なことに、沖縄が舞台のNHK連続テレビ小説『ちゅらさん』のヒロイン古波蔵恵理役をさせていただくことになり、ロケで訪れた那覇の街はふるさとなのにとっても新鮮に感じました。

なかでも、古波蔵家のある首里金城町の歴史的な石畳道は特に印象的。坂のきつい昔ながらのこぼこの石畳で、登り降りするのにはハアハア言ってしまうほど。しかし、道沿いにある赤い琉球瓦のお屋敷の石垣から、沖縄ではアカバナというハイビスカス

やアーゲンベリアが顔をのぞかせ、本当に美しいのです。15世紀頃に生まれた沖縄の万葉集ともいわれる「おもろそうし」には、首里のまちは京都や鎌倉にも勝るとも劣らず美しいと書かれているようですが、その風景は、琉球王国の首都の誇りを秘めています。生まれ育ったあまりにも身近なまちなので、気がつかないのですね。

も

うひとつふるさとを離れてわかったのは、元気で強いおばあちです。亡くなった私の祖母は病院に入るとき、もう意識もあまりなかったのに沖縄民謡を流すといきなりカチャシーを踊りはじめたのです。また沖縄ではゆいまーるといいますが、おばあを中心に隣近所が助け合い、なぐくるないさあー(なんとかなるさ 心配ないよ)と、どんな時でも明るく暮らしています。私も小さい時からお母さんのいうことは聞かなくてもおばあこのうことは聞きなさいといわれてきました。お年寄りを尊敬し大事にする、それだけで暮らしもまちなまちなのかも知れませんが、沖縄はそんな

※カチャシー 沖縄民謡の演奏にあわせて、両手を肩上げ振り回して踊る代表的な手踊り



首里金城町石畳道
 (沖縄県那覇市)

離れてわかった ふるさとの美しさ たくましさ

——『ちゅらさん』のまち 元気な沖縄 那覇
 国仲 涼子

Ryoko Kuninaka

女優・歌手。1979年沖縄県那覇市出身。女優としてテレビや映画をはじめ、歌手としても活躍。最近では関西テレビ・フジテレビ系の火曜22時連続ドラマ『ハングリー!』に出演、主人公向井理の恋人役として注目を浴びている。代表作 テレビドラマ『ちゅらさん』シリーズ『みんな昔は子供だった』『結婚できない男』、映画『ミラーを拭く男』『電車男』『HERO』ほか。歌『琉球ムーン』『めぐり逢えたね』など。なお『心に残る朝ドラヒロインアンケート』で、『ちゅらさん』の国仲涼子は『おはなはん』の榎本文枝、『おしん』の田中裕子に次いで第3位となった(朝日新聞 2010年9月25日 beランキング)。

